

2004 年度第 4 回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

2005/03/16

公式ウェブサイト管理責任者

坂本 貴史

日時: 2005 年 3 月 13 日 19:00 ~ 24:00

場所: ホテル山光 (栃木県日光市)

出席者:

幹事・会計監査・事務機構員

氏名	役職	学校と学年	出席
堺 信夫	幹事長	大阪大学 4 年	
西田 剛志	副幹事長	東京大学 3 年	
岡 英樹	会計	東京工業大学 3 年	
花木 睦子	事業部長	千葉大学 4 年	
下村 佳奈	広報部長	岩手大学 4 年	
築山 絢	事務局長	早稲田大学 3 年	
高橋 元気	北東地区代表幹事	東北大学 3 年	
北崎 茂	関東地区代表幹事	東京工業大学 3 年	
荒井 友香	北信越地区代表幹事	新潟大学 3 年	
櫻木 伸也	東海地区代表幹事	静岡大学 3 年	
峯村 綾香	関西地区代表幹事	奈良女子大学 3 年	
松村 小夜子	中九四地区代表幹事	山口大学 3 年	
保呂 毅	会計監査	京都大学 4 年	
漢那 理絵	会計監査	相模女子大学 3 年	
坂本 貴史	広報部・公式 Web 管理責任	筑波大学 4 年	

次年度幹事

氏名	役職	学校と学年	出席
高橋 元気	幹事長	東北大学 3 年	
袴田 優美	会計	実践女子大学 2 年	
櫻木 伸也	事業部長	静岡大学 3 年	
丸藤 純	広報部長	岩手大学 1 年	
三矢 麻以	事務局長	実践女子大学 2 年	
市川 雄一郎	普及部長	大阪外国語大学 2 年	
真名垣 友樹	北東地区代表幹事	北海道大学 2 年	

高橋 弘恵	関東地区代表幹事	茨城大学 2年	
本郷 真弓	北信越地区代表幹事	金沢大学 2年	
福味 亮伸	東海地区代表幹事	静岡大学 2年	
大西 康平	関西地区代表幹事	京都大学 2年	
倉田 陽子	中九四地区代表幹事	山口大学 2年	

その他役員(副会長、理事、委員会)

氏名	担当	出席
山川 克則	副会長	
上田 泰正	理事長 全体統括	
木村 佳司	理事 インカレロング	×
広江 淳良	理事 JOA	
土方 隆	理事 インカレミドル・リレー、理事会会計	×
加賀屋 博文	理事 技術委員会	×
大滝 民己	理事 組織、会計	×
西脇 正展	技術委員会 委員長	
針谷 尚幸	インカレミドル・リレー2004 実行委員会 委員長	
永田 秀樹	インカレロング 2005 実行委員会 委員長	
藤本 佳完	インカレロング 2005 実行委員会 副委員長	

1:自己紹介

今年度幹事、新年度幹事、理事の自己紹介

2:後援申請

第28回筑波大学オリエンテーリング大会

開催日時: 2005年12月11日(日)

開催場所: 茨城県水戸市木葉町及び城里町

12/12で承認

3:第28回日本学生オリエンテーリング選手権大会ロングディスタンス競技部門の報告

第28回日本学生オリエンテーリング選手権大会ロングディスタンス競技部門実行委員長より、実行委員会結成の報告。

日時は、2005/11/06。前日のモデルイベントは、三河 OLC に依頼中。

現在、実行委員は実行委員長の人脈により、関西より17名、東海より1名。実行委員が足りない状況である。2004年度第1回の議事録より、実行委員は日本学連でも招集をかけることになっているので、早急をお願いしたい。なお、この件に関しては、来年度の事業部長が当たることとなった。

また、要項1の発行が遅れていることが報告された。

4: 諸規則改正の確認

日本学生オリエンテーリング連盟規約、日本学生オリエンテーリング連盟後援に関する規定、総会の欠席に関する規則を改正するにあたり、幹事会において確認した。詳細は資料参照のこと。

5: 「日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則」について

日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則を、新たに制定する。この規則は、地図の権利・販売方法・OCADデータの扱いについて定めている。規約案は資料参照のこと。

第2条2項に、わかりにくい表現を含んでいたため、削除することとなった。

第9条に、リメイク時の申請に関して、連盟に所属していない者にも求める項目を追加した。

6: 関東リレー問題

議案にはないが、関東リレーで使用された地図に関して、ジェネシスマッピング社より説明があった。これに関して、オンデマンド印刷・リメイク・権利に関して議論された。

関東リレーでは、日本学連の地図である「番匠峰古墳」「矢板宮川」をリメイクした「矢板宮川 + 番匠峰古墳」が使用された。また、地図はプリンタ印刷により作成され、今後はリメイクを行ったジェネシスマッピング社のオンデマンド印刷により提供される。しかし、「矢板宮川」と「番匠峰古墳」の著作権は日本学連にあるため、今回は学連の地図をジェネシスマッピング社が不許可のままリメイクし、地図をリリースしてしまったということになる。そのため、古い地図となってしまった「矢板宮川」「番匠峰古墳」ともに、新しい「矢板宮川 + 番匠峰古墳」に、その価値を低下させるおそれが生じた。

体制の問題点として、日本学連の地図が無許可でリメイクできる状態にあったことがあげられた。これに関しては、新しく制定する「日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則」に、それを防止する記述を盛り込むこととなった。

目前の問題として、すでに使用されている「矢板宮川 + 番匠峰古墳」の販売方法、ならびに販売料金、そしてジェネシスマッピング社へのリメイク料金の支払い額を定める必要がある。販売方法は、オンデマンド印刷を日本学連の事務局で扱うことができないため、ジェネシスマッピング社に委託することとなる。具体的な販売方法に関しては、今後議論する必要がある。リメイク料金に関しては、リメイクを行ったジェネシスマッピング社の請求額に、無許可でのトレインリメイク・大会開催を行ったペナルティとして「矢板宮川」と「番匠峰古墳」の販売見込み数を損失額として減じた額を支払うことで意見がまとまった。さらに販売料金だが、「矢板宮川 + 番匠峰古墳」は2つの地図にまたがっているため、2つの地図の使用料金150円+200円=350円にオンデマンドにかかる紙代や印刷コスト、そしてジェネシスマッピング社の定めるオンデマンド手数料が上乘せされる。

また同様の問題は、インカレミドル・リレーのトレインである「不動の滝」においても発生することが懸念される。そのため至急、ジェネシスマッピング社の「オンデマンドサプライ」と学連の地図の関係

を整理していく必要があると思われる。

7:理事会報告

1.新理事推薦について

来期は改選時期では無いが、将来へ向けての継続的な発展を目的とする、理事会の強化のために、下の2名を理事会に加えることを提案する。なお、理事の任期は通常2年であるが、他の理事があと1年で改選であることを考慮し、新理事2名に関しては当初1年の任期とする。

・山口尚宏

担当業務:テレインコントロール

注:山口氏はWOCの主要な運営スタッフであるため、本格的な活動は大会終了後となる。

・堺信夫

担当業務:普及部、組織強化

2.財務体質の強化について

加盟員の減少により、加盟金収入は減少してきている。また、収入面で大きな支えとなっていた、インカレ参加費の余剰金に関しても、参加者減により全く期待できない状況である。つまり、何らかの方法で収入を増やすか支出を減らす努力をしないと、組織が財務面から弱体化していく事は明らかである。活動の削減による支出減は、組織の弱体化を加速させる悪循環になりかねないので、まずは収入増を目指すべきであると考えます。

収入増へ向けた活動案

- ・加盟員を増やす
- ・加盟金を値上げする
- ・インカレ参加費を値上げする
- ・企業など他団体へ寄付金、賛助金を求める
- ・OBへの賛助会員への登録を強化する

3.JOAとの関係について

JOAと組織として正式な交流を目指して、これまで色々と活動してきた。特に、ここ数年は突っ込んだ協議を進めてきている。その結果、本年度は、JOA選手登録事務の一部を学連で代行したり、JOA主催大会とインカレを併催したりなど、具体的な結果を得ることができた。JOAの中では、理事の派遣を学連に求めるべきとの意見もあり、6月のJOAの総会までに実現する可能性もある。その場合には、上田理事を派遣理事として推薦する予定である。今後、JOAとの関連をどのようにしていくかは、幹事会を中心に議論していくこととなるが、幹事会、理事会、そして全ての加盟校、加盟員にも考えてもらいたい。

来年度の交流として、全日本大会の併催ないし何らかの協力の依頼がきている。学連として、よりよい形で協同していきたいと思う。

理事会より、JOAから2005年度の全日本大会を、ミドル・リレーのトレインである「不動の滝」で開催したい旨が伝えられ、それに関して議論された。影響として、以下が挙げられる。

- 1.クローズに伴う学生の練習への影響(削除)
- 2.クローズに伴う、未来のインカレの調査者の意欲への影響。

結果、学生の使用に対し、クローズ期間を設けないか、もしくは従来より短くしてもらうなどの譲歩が認められるなら、学連としても賛成できるとの意見をまとめた。

8:2004年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドルディスタンス・リレー競技部門の報告

2004年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドルディスタンス・リレー競技部門 実行委員長より報告がされた。

現在、大きなトラブルは報告されていない。以下5点ほど提言。

ミドルディスタンス・リレーという体制と、クラシックディスタンス(現在のロングディスタンス)・リレーという体制の運営における負担を比較すると、同程度と言わざるを得ない。

学生の運営参加により、撤収が楽になった。今後のインカレ運営を考えていく上で、学生の運営参加は必要不可欠なものとする。ただし、依頼をする過程で戸惑った面があるため、学生側と実行委員会側の窓口が必要と思われる。

トレイルを併設したが、運営にそぐわない点がある。ひとつに空間的課題が、もうひとつに時間的課題が挙げられる。空間的課題とは、ミドルディスタンス・リレー競技のように会場周辺の空間を大いに利用する競技部門と、同じく会場周辺の空間を利用するトレイルでは、空間的な競合が発生してしまう。時間的問題とは、観戦を考慮すると、競技者においてもトレイルに割く事の出来る時間があまりにも少ない。トレイルはロングに併設したほうがよいだろう。

地図置き場において、強風により地図が散乱し、一般クラスの選手に2分ほどのロスを与えてしまった。強風などのアクシデントにも耐えうる体制が必要。

新入生の教育を徹底して欲しい。リレーの日にゼッケンのないまま出走しようとしている選手が、ミドルディスタンスでは自身のレーンがわからず、役員をあわてさせた選手がいた。

9:技術委員会報告

1. 第27回日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス競技部門において、シード選手を選出した。
2. 第27回日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス・リレー競技部門のイベントアドバイザーを派遣した。正アドバイザーは吉村年史、副アドバイザーは西脇正展。
3. 2005/01/21-22にかけて、日本学連地図調査講習会を主催。金曜日から土曜日にかけてという変則的な期間だった。
4. 2005年度以降は、コースコントロール講習会などの講習会も開催していきたい。
5. 2005年度の日本学生オリエンテーリング選手権大会へのイベントアドバイザー派遣は、まだ行っていない。

10:「日本学生オリエンテーリング連盟幹事会及び事務機構に関する規則」について

日本学生オリエンテーリング連盟幹事会及び事務機構に関する規則を、新たに制定する。この規則は、日本学生オリエンテーリング連盟規約には書かれていない、幹事会と事務機構設置に関する具体的な記述である。規則案は、資料参照のこと。

11: 幹事会と事務機構の整備について報告

◆ 事業部

資料「事業部について」を参照のこと。

第27回日本学生オリエンテーリング選手権大会ロングディスタンス競技部門の資料は完成した。ミドルディスタンス・リレー競技部門の資料は、現在作成中。担当は現事業部長の花木。

◆ 事務局

資料「事務局について」を参照のこと。

現在、各地区学連の事務局を日本学連の事務局の出張所として再編成中。メーリングリストで各地区を接続した。

◆ 広報部

資料「広報部について」を参照のこと。

2004年度は、いぶき電子版と公式ウェブサイトにより、情報発信の活性化に成功した。今後も情報発信を続けていく際、ITスキルの確保が重要となる。そのため、アドヴァイザを設け、旧幹事にはアドヴァイザとして関係してもらおう。

◆ 普及部

普及部に関しては、次章を参照のこと。

12: 普及部設置準備の報告

新普及部長の市川雄一郎(大阪外語大学2年)が説明。

普及部は年度を通じて、普及・勧誘活動を行う。具体的には、勧誘活動の方法を研究し、各地の勧誘活動をサポート、卒業生のサポートとスタッフ集めを行う。経費の支出方法はもう少し詰めていく必要がある。

13: インカレ開催地アンケート結果の報告

担当の高橋元気(北東地区代表幹事)が説明。

学生の意見を踏まえてテレインコントロールワーキンググループに諮問してみた結果、やはり2005年は愛知以外での開催は不可能となった。遅くともインカレ開催の2年前までにはテレインを決定する必要があるため、2年半前までに意見を集めるのが望ましい。また、今後はインカレテレインのビジョンを加盟員に伝える活動が必要である。

学生の意見においては、自校有利の提案が多いほか、一番考えて欲しかった採算性についての

日本学生オリエンテーリング連盟

記述がほとんどなかったのが、残念である。

14: インカレエントリーについて

資料「インカレエントリーについて」を参照のこと。

これは、インカレの運営を純粋運営部分と付加部分に分けたとき、宿泊などは付加部分となるという考えに基づき、宿泊や交通手段、昼食のお弁当などを全て日本旅行ならびに参加者の判断に任せてしまおうというものである。

しかし、今までの日本旅行の対応に不満が残る現在、すぐに実行するのは問題がある。更に、交通手段まで参加者の自由にした場合、駐車場をコントロールする必要が生じる。

そのため、この件に関してはよりいっそうの議論が必要である。

15: 平成17年度予算案

資料「平成17年度予算案」参照のこと。

IC後援料400,000円という項目に関し、「毎日新聞のIC後援に関する寄付金」という目的が不適当と考えられるので、これを削除する。

16: JOA 競技者登録についての説明

2004年度の競技者登録代行がまだ完了していない。次年度に関しても検討中である。

17: 事務局について

日本学連事務局の現状について、理事の広江氏の報告。

2004年2月27日に学連事務局を池袋に移転して以来、ジェネシスマッピングと学連の間で不協和音が響いている。先日、新事務局を視察してきました。そこで何人かの関係者とした話も踏まえて、状況を報告。幹事会レベルでの継続的な議論と、理事会レベルでの適切な支援が必要。

経過

平成10年11月 事務局移転(高田馬場 目白台)

理由: 大家 - 山川 - 学連という変則的な契約形態を解消するため

平成16年2月 事務局移転(目白台 池袋)

理由: (有)ジェネシスマッピング(H15.1.10設立)の業務拡張のため

今回の事務局移転は、ジェネシスマッピングの代表でもある上田理事長が決定。学生側には事前には口頭による通達があったのみで、学生側は一方的に事を運ばれてしまったという意識がある。

旧事務局(目白台)について

山川副会長が個人所有するマンションの一室である。当初の賃貸料は月92,000円で、日本学連と関東学連が3:1で負担。なお、平成14年度までは支払い済みで、平成15年度分が未払い。ジェネシスが設立された後は、一部をジェネシスが負担するようにしたため学連負担は、賃貸料/コピー

日本学生オリエンテーリング連盟

一機 / 倉庫代を含めて月 60,000 円程度。

新事務局の経費

賃貸料は月 150,000 円。これをジェネシスと(株)リテラメッドが折半して払っている。事務局の賃貸料以外に、下記の経費がかかっている。

- ・光熱費 / 通信費 / 消耗品
- ・コピー機(リース基本料(月 29,800 円) + パフォーマンス料)
- ・倉庫代(高島平) 月 11,550 円。

ジェネシスは学連(日本学連 + 関東学連)に対して、上記すべてを含めて月 60,000 円を負担してもらうことを提案している。

倉庫(高島平)について

平成 14 年 11 月から借りている。貸主はオノデンリース(株)。借主は当初は山川副会長だったが、現在はジェネシス。インカレの資材や学連の古い資料等を保管している。

上田理事長の主張

もともと学生は事務局で仕事をしていなかった。スペースはそれほど必要ない。新事務局での経費負担については、学連の財政を十分に考慮した金額を設定した。(ジェネシスが出て行ったら、学連は目白台の事務局経費を払えない。)学連は人格を持たないので、独自で事務局を借りることは不可能。(高田馬場の時代に逆戻りすることになる。)以上のことを考慮して、最大限に学連のことを考えた手配をした。

学生側の主張

正式に事務局について、理事長から説明をされた経緯はない。学生は、移転の是非を検討する間もなく、強制的に移転させられた感じがする。またジェネシスから以下のような扱いをされている。

- 学連事務局員の人格が対等な扱いを受けていない(何かにつけて「店子」呼ばわりされるなど)
- 学連のPCから、コンセントやインターネットの線が抜かれていることがある。
- 移転の際に関東学連の資材が高島平に運ばれてしまった。
- その他学連の資産が、勝手に扱われている。

学生は、何もコピー機やエアコン、台所・トイレ等が完備されている立派な事務局が必要なわけではない。学生の主権が維持できる空間を確保することが大切なのである。

ここ数年、学生が主体性を持って組織運営を考える姿勢を失っていたことが、根本の原因にあるのではないかと考える。

現在の事務局で、学連が使用するスペースを増やす余地は物理的にない。学連は、このままジェネシスと事務局を共有するか、別の事務局に移転するか、学生サイドできっちりと議論して決めなければ

ばならない。別の事務局を探す場合には、理事会も最大限の協力をしなければならない。

そこで、事務局を現在の池袋からもとの目白台に移すという提案がなされた。目白台の物件は学連理事の山川氏の所有であり、山川氏より学連が借りるという形態となる。光熱費と家賃は学連が持ち、日本学連と関東学連で負担することとなる。

このことに関して、決が採られた。12/12で承認された。

なお、日本学連と関東学連の負担分は、お互いの財務状況などを考慮し、適切な割合を改めて定めることとなった。

18: 各部局活動報告

◆ 事業部

- ・ロングディスタンス競技部門の報告書と、ミドルディスタンス・リレー競技部門のプログラムを、2005/02/13の早大OC大会で配布した。
- ・第27回日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス・リレー競技部門において、開会式・閉会式・撤収手伝い・後夜祭・講習会の運営を行った。

◆ 広報部

- ・開設1年にあたる2005/02/16に、公式ウェブサイトのリニューアルを行った。
- ・日本学連機関紙「いぶき」の第3号を、2005/03/07に発行した。
- ・日本学連の全体メーリングリストの管理を行った。
- ・2005/03/22を予定に、いぶきの第4号を発行する予定。

◆ 事務局

- ・JOAの競技者登録代行に関して、未だ処理中。
- ・事務局を再度引っ越す予定。
- ・加盟員登録の確認の依頼が来たため、確認を行った。
- ・矢板・日光地区の地図が、インカレ対策の練習会でたくさん使用された。
- ・賛助会員登録を行った。

19: JOAとの関係について

理事会報告に代える。

18: 地区学連活動報告

別紙参照のこと

19: その他

公式ウェブサイト管理責任者より、公式ウェブサイトにイントラを持ちたい部局があったら、言って欲しい。

日本学生オリエンテーリング連盟

20: 次回幹事会日程

東京大学OLK大会の前日、2005/06/04に、群馬県松井田町で開催予定。詳細は追って連絡する。

以上